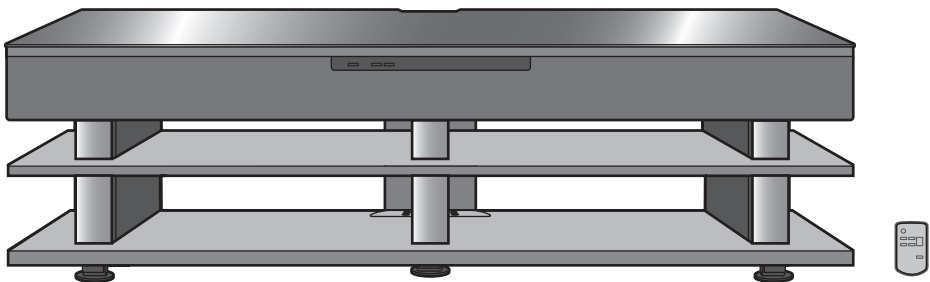
Panasonic

組み立て説明書

ホームシアターオーディオシステム

品番　SC-HTF9
SC-HTF7
SC-HTF6

イラストはSC-HTF9です。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 組み立て説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 組み立てる前に**「安全上のご注意」（➔ 3ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、組み立て説明書とともに大切に保管してください。
- 取り扱いについては、別冊の取扱説明書をお読みください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT3D22-2
H1110RT2011

準備する

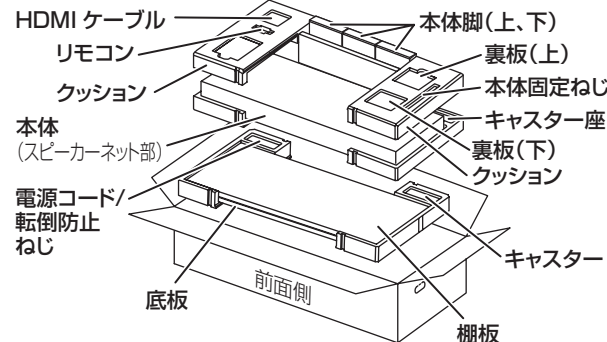
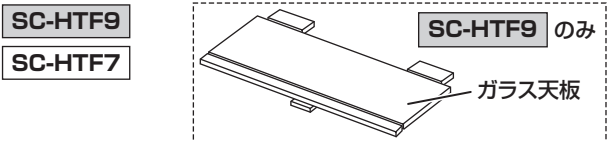
1 部品・付属品を取り出す。 必ず2人以上で行ってください。

- 上から順に取り出してください。
- 本体はクッションを取り除いてから、前面側のスピーカーネット部に力を加えないように取り出してください。
（本体を包装している保護シートは後から使用しますので、包まれた状態にしておいてください。）
- 底板を包装している保護シートは「組み立てる」の手順8（➔ 6ページ）で使用しますので、破らないようにしてください。

（包装仕様図）

SC-HTF9
SC-HTF7

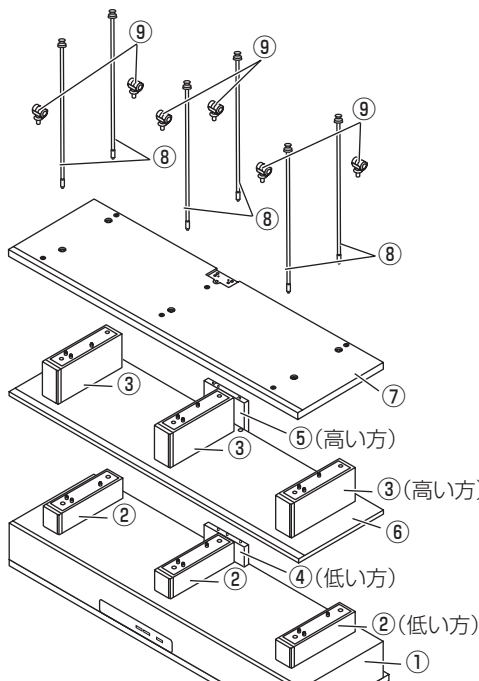
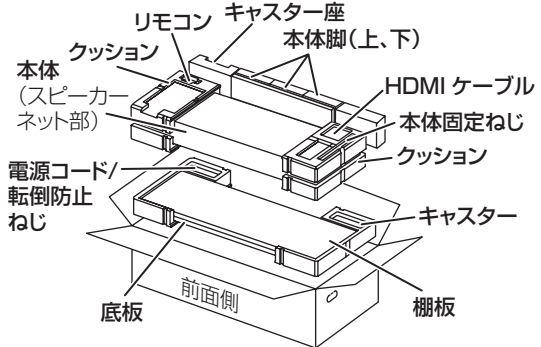
SC-HTF9 のみ
ガラス天板

HDMIケーブル
リモコン
クッション
本体（スピーカーネット部）
電源コード/転倒防止ねじ
底板
本体脚（上、下）
裏板（上）
本体固定ねじ
キャスター座
裏板（下）
クッション
キャスター
前面側
棚板

SC-HTF6

2 組み立てに必要な部品の確認をする。

- □ ① 本体（1台）
- □ ② 本体脚（上）（3個）
  SC-HTF9【RKP0133-K】SC-HTF7【RKP0133A-K】
  SC-HTF6【RKP0134-K】
- □ ③ 本体脚（下）（3個）
  SC-HTF9【RKP0130-K】SC-HTF7【RKP0130A-K】
  SC-HTF6【RKP0131-K】
- □ ④ 裏板（上）（1枚）【RKP0139-K】　SC-HTF9、
- □ ⑤ 裏板（下）（1枚）【RKP0140-K】　SC-HTF7 のみ
- □ ⑥ 棚板（1枚）
  SC-HTF9【RKQ2G0012-K】SC-HTF7【RKQ2G0013-T】
  SC-HTF6※【RKQ2G0014-M】/【RKQ2G0014-T】
- □ ⑦ 底板（1枚）
  SC-HTF9【RYQ0810-K】SC-HTF7【RYQ0812-T】
  SC-HTF6※【RYQ0814-M】/【RYQ0814-T】
- □ ⑧ 本体固定ねじ（6本）【RXQ1885】
- □ ⑨ キャスター（6個）【RXP0071】

※ SC-HTF6の⑥棚板と⑦底板には、それぞれ色違いの2種類あります。色の種類は、保証書または包装箱に記載されている商品品番（SC-HTF6）の末尾にある記号-M（ミディアムウッド）、-T（ダークウッド）で識別できます。

- かっこ【　】内は、2010年12月現在の品番です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

（組み立て展開図：
上下が逆の状態です。）

お知らせ

- 設置用部品（ガラス天板（SC-HTF9のみ）、キャスター座、転倒防止ねじ）は、設置時に使用します。（➔「取扱説明書」6、8ページ）
- 付属品（電源コード、HDMIケーブル、リモコン）は、接続と操作時に使用します。（➔「取扱説明書」9～11ページ）

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

必ず組み立て説明書に従って組み立てる
テレビが倒れたり落下して、けがの原因になります。

本体固定ねじはしっかりと締め付ける
組み立てたあと、透き間やぐらつきがあると、テレビが倒れたり落下して、けがの原因になります。

ぐらつきが発生した場合は、本体固定ねじを締めなおす
ぐらつきがあると、テレビが倒れたり落下して、けがの原因になることがあります。

組み立て途中での使用はしない
テレビが倒れたり落下して、けがの原因になります。

コイン電池、転倒防止ねじは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

組み立て、設置時には、指をはさまれないように注意する
けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

指はさみ注意

部品・付属品の取り出し、組み立ては2人以上で行う
1人で無理に行うと、腰を痛めたり、けがの原因になることがあります。

縦置きしない
倒れたりしてけがの原因になることがあります。

ラックの組み立て時に、ラック下部の透き間内に足先を入れない
けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

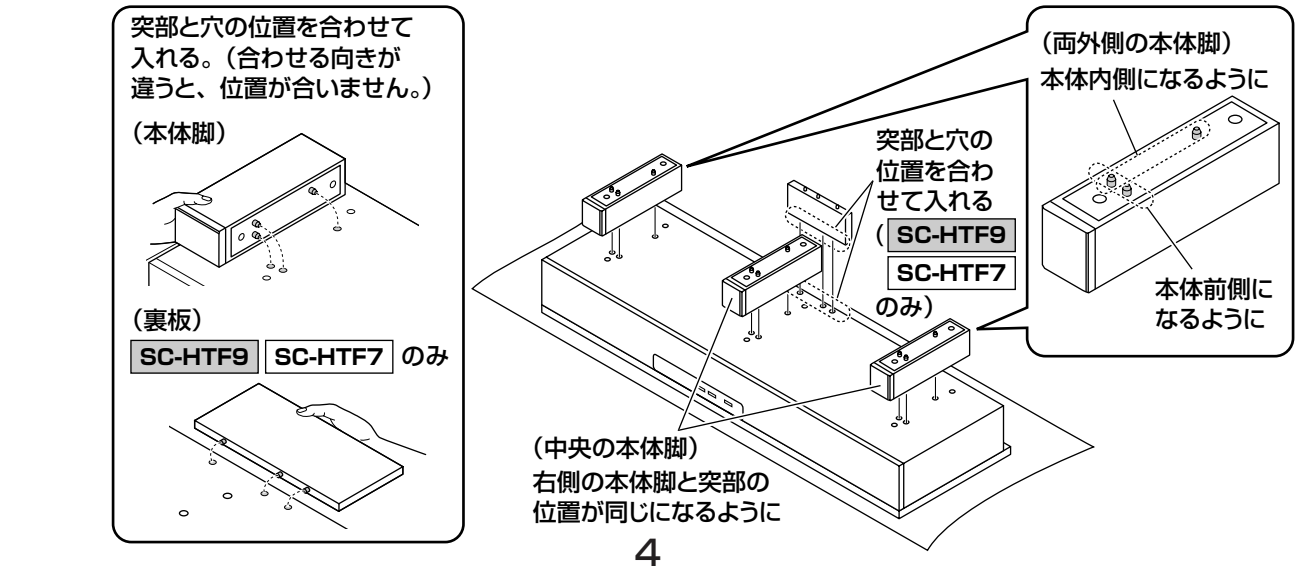
組み立てる

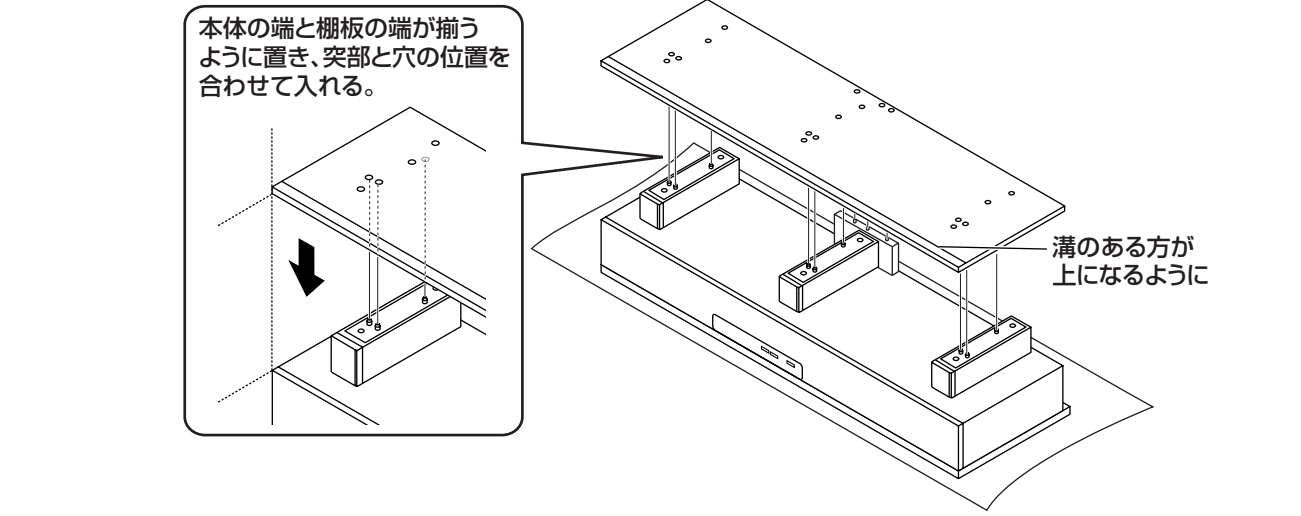
- ■ 組み立て作業は、2人以上で行ってください。
- ■ ねじのサイズに適合したプラスドライバーを用意してください。（過大な力の加わる建築工事用取っ手付きドライバーなどは使用しないでください。ねじ / ナットが破損することがあります。）
- ■ 接着剤は使用しないでください。使用すると後で修理できなくなることがあります。
- ■ 組み立て時に、前面のスピーカーネット部に力を加えないでください。
- ■ 組み立て途中での使用はしないでください。
- ■ 指をはさまないようにしてください。
- ■ 棚板・底板は木材を使用しているため、若干のそりが発生している場合がありますが、本体固定ねじで締め付けることにより（➔ 6 ページ手順 6）矯正されます。

1 底面が上になるように本体を置き直す。

- 保護シートの合わせ面が上になるように置き、テープ留めを取り除き保護シートを広げてください。
- 周囲に平らな作業スペースを十分確保してください。

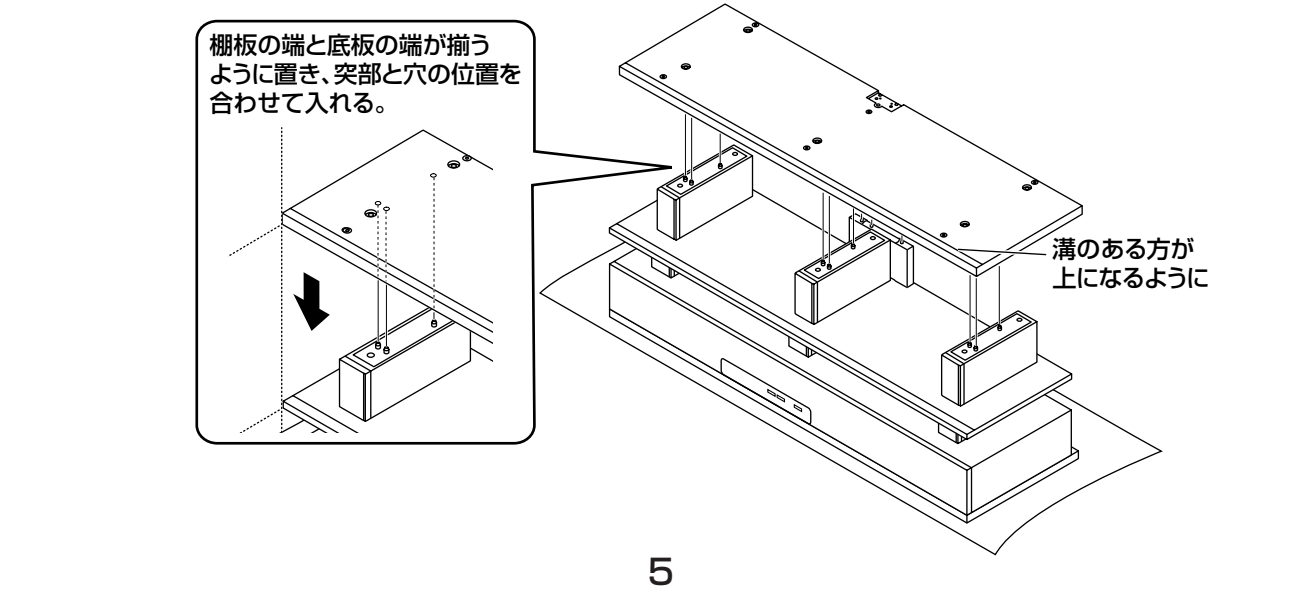
2 本体脚（上（低い方））と裏板（上（低い方）：SC-HTF9、SC-HTF7 のみ）を取り付ける。

- 本体脚と裏板には 2 種類の高さがあります。低い方が本体脚（上）と裏板（上）です。
- 3 つある本体脚（上）に区別はありません。
- 中央の本体脚は、前面から見て向かって右側の本体脚と突部の位置が同じになるように取り付けてください。

3 棚板を取り付ける。

- 板面に傷が付く場合がありますので、強く押し付けないでください。

4 本体脚（下（高い方））と裏板（下（高い方）：SC-HTF9、SC-HTF7 のみ）を取り付ける。

- 本体脚と裏板には 2 種類の高さがあります。高い方が本体脚（下）と裏板（下）です。
- 3 つある本体脚(下)に区別はありません。
- 本体脚と裏板の取り付けは、手順 2 を参照してください。

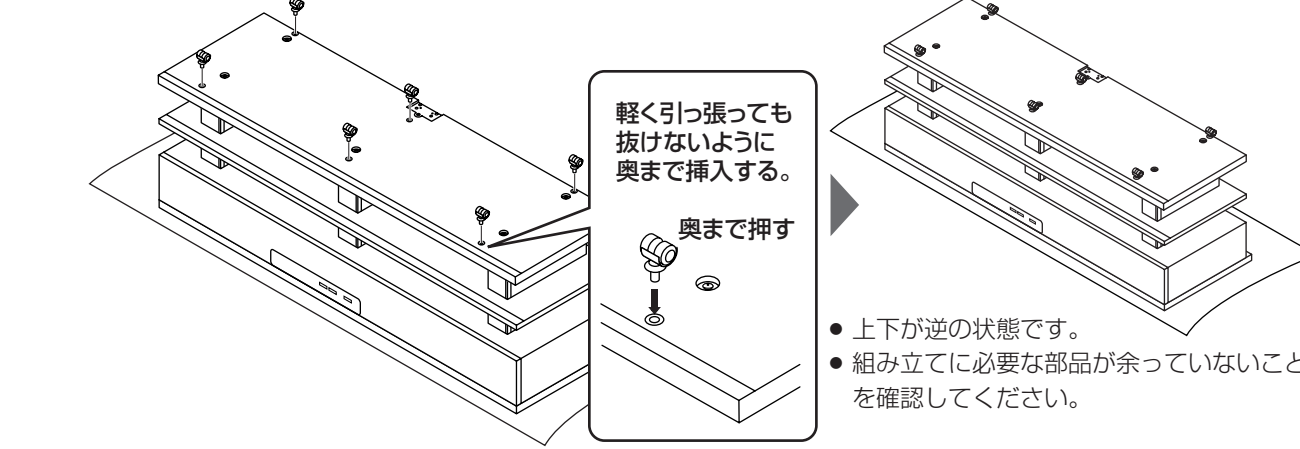
5 底板を取り付ける。

- 板面に傷が付く場合がありますので、強く押し付けないでください。

6 本体固定ねじを挿入・固定する。

- 一度それぞれの本体固定ねじを軽く締めてから、透き間やぐらつきがないようにしっかりと締め付けてください。
- しっかり締め付けると、本体固定ねじ頭の平らな面と底板面がほぼ同じ高さになります。
- 締め付けが不十分な場合、台がぐらついてテレビが転倒する場合があります。
- ぐらつきがある場合は、異物などのかみ込みがないか確認してください。

7 キャスター（6 個）を取り付ける。

- 柔らかい床材（畳、毛足の長いじゅうたんなど）の上に設置する場合は、キャスターを取り付けないでください。

- 上下が逆の状態です。
- 組み立てに必要な部品が余っていないことを確認してください。

8 後方にゆっくり倒してから、起こす。

- 底板を包装していた保護シートを後方に並べて敷いてください。
- 床に置くときに手や足をはさまないようにしてください。
- 後面側のキャスターが動かないように起こしてください。

VQT3D22-2